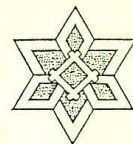


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和6年6月3日発行
(本年度3号)



校訓

共同（助け合え） 進取（すすんでせよ）

立夏～修学旅行～水無月

爽やかな初夏の陽気に包まれて、元気に活動する子ども達の姿が見られます。玄関前にはキュウリやミニトマト、ナス、オクラ、万願寺、ジャガイモ…子ども達が植えた野菜の葉が、徐々に大きくなってきました。

先日の授業参観・緊急時避難訓練では多くの保護者様が来校され、子ども達の様子をご参観いただきました。緊急時引き渡し訓練にも多数ご協力いただきありがとうございました。

5月18日は東舞鶴運動公園で「舞鶴市小学生陸上競技大会」が開催され、本校からは6年生11名が参加しました。放課後にコツコツと練習を積み重ねた成果を発揮する事ができ、女子100mで優勝と準優勝、女子80mハードルで優勝、男子ジャベリックボール投げで優勝、女子200mで6位入賞を果たしました。惜しくも入賞を逃した選手も自分の力を精一杯出して活躍しました。陸上競技は自分との戦い。目標をもって頑張った経験はきっと自分を鍛える事に繋がっています。今後の学校生活に生かしたいです。

5月30日～31日は6年生の修学旅行でした。吉原小学校の6年生と一緒に奈良や大阪、神戸を訪れ、歴史的建造物を見学したり遊園地や職業体験施設、防災学習施設を見学したり充実した2日間でした。1日目の東大寺など「古都奈良の文化財」は1998年に登録された世界遺産。社会科で学習する教材を実際に見て、歴史の重みを実感する事ができました。また2日目の「キッザニア甲子園」では、有名企業が運営する様々なブースを回り「仕事（職業）」を体験的に学びました。また「人と防災未来センター」は1995年（29年前）に発生した阪神淡路大震災を教訓に防災について学ぶ事ができる施設です。被災当時の記録をもとに、震災の恐ろしさや防災の大切さを知るとともに被災された方々の苦労や復興に向けた思いを感じる事ができました。

修学旅行は、小学校生活の中でも特に思い出に残る行事です。学習指導要領では学校行事として、普段と違う環境で自然や文化に触れて見聞を広め、集団生活の在り方や公衆道徳などを体験的に学ぶ事とされています。始まりは1886年に実施された東京師範学校（現筑波大学）の長途遠足で、千葉県銚子方面へ11泊12日の日程で出かけたそうです。当時は気象の調査や鉱物、貝類の観察採集などの学術研究を重視しながら国家思想も色濃く反映されました。小学生の修学旅行が一般的になったのは昭和20年代。神社仏閣の「参拝」や遺跡の見学等が多くありました。今は多くの面で昔と違いますが、体験的な学びを通してよりよい人間関係作りを重視したプログラムが定着しています。

吉原小学校の6年生とは野外活動や社会見学など交流する事も多く、互いのこともよく知っています。当日には、バスの中で自己紹介やゲームをしたり、見学場所で両校混合のグループで行動したりと、一緒に活動する場面が多くありました。修学旅行が終わる頃には、一つの学級であるかのように仲良くなり、楽しい思い出を作ることができたように思います。来年は同じ城北中学校に通う仲間です。今後も一層交流を深め、修学旅行で学んだことや経験したことを、両校の最高学年として、今後の学校生活に生かしてくれる事を期待します。1学期も折り返しです。保護者、地域の皆様には、変わらぬご理解ご協力をお願いいたします。



6年生:修学旅行

校長 波多野 暢 教職員一同